

サービス紹介資料

MICEの脱炭素化を ともに実現します

MICE × 脱炭素 継続的CO₂削減プログラムのご提案

ポイント

- すべてのMICE種別に対応
- CO₂の算定・見える化
- イベント特性に合わせた削減施策
- 地域クレジットの地産地消
- 参加者の行動変容プログラム
- 継続的改善サイクルの構築

01 脱炭素化が求められる背景

主催者・参加者・社会 — 三方から高まる要請

2050年

カーボン ニュートラル

日本政府目標

企業・団体に対しても
具体的行動が求められる時代

SDGs 目標13
「気候変動に具体的な対策を」

GHG開示義務化
・ 温対法改正 対応必須



社会・規制

政府・行政からの要請が強化

温対法改正・GHG開示義務化が加速。団体・協会にも報告責任が求められています。



参加者ニーズ

参加者の環境意識が急速に変化

「主催者の脱炭素姿勢」を重視する参加者が増加。大会選定の評価軸になりつつあります。



競争優位

脱炭素は受注・差別化の武器になる

同業他社との差別化・スポンサー獲得など、事業面でも大きなメリットがあります。

▶ 今こそ「継続的な脱炭素プログラム」をMICEの標準装備とする絶好のタイミングです

02 脱炭素支援サービスの全体像

4つのサービスでワンストップにサポートします

① CO₂排出量の「見える化」

大会・イベントで発生するCO₂排出量を、交通・宿泊・会場エネルギー・印刷物などの項目別に算定し、わかりやすいレポートとして主催者様・参加者様へ開示します。

- ・ 移動・宿泊・会場・飲食を網羅した算定
- ・ 参加者向けCO₂開示レポート作成
- ・ 年次比較で削減効果を「見える化」

② 排出削減の取組み

省エネ会場・グリーン交通・デジタル資料化・フードロス削減など、大会の特性に合わせた具体的な排出削減施策を企画・実施段階からサポートします。

- ・ 再エネ会場・省エネホテルの優先選定
- ・ 公共交通・EV車両優先の輸送手配
- ・ 印刷物デジタル化・フードロス削減

③ カーボンオフセット

※地域のカーボンクレジットまたは国連カーボンクレジットを活用

削減しきれない残余CO₂を、地域の森林・再エネ由来のJ-クレジットや国連認証クレジットで相殺し、大会のカーボンオフセットを実現します。

- ・ 地域J-クレジット／国連認証クレジットを手配
- ・ クレジット購入で地域の林業・再エネを支援
- ・ カーボンオフセット宣言をサポート

④ 体験価値の提供

※特設サイト、情報発信コンテンツ制作

主催者様の脱炭素取組みを、特設Webサイト等で効果的に発信。参加者のエンゲージメントを高め、大会ブランドの価値向上につなげます。

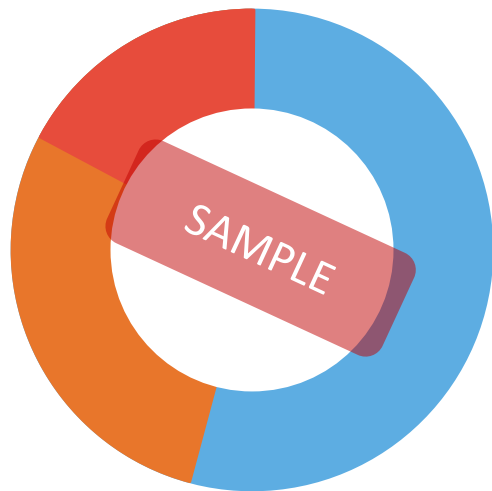
- ・ 脱炭素特設サイト・ストーリーコンテンツ制作
- ・ 環境クイズゲーム・Webアプリの導入
- ・ CO₂カウンターアプリでリアルタイム表示

▶ 主催者様の大会規模・種別・ご予算に合わせ、①～④を最適に組み合わせてご提案いたします

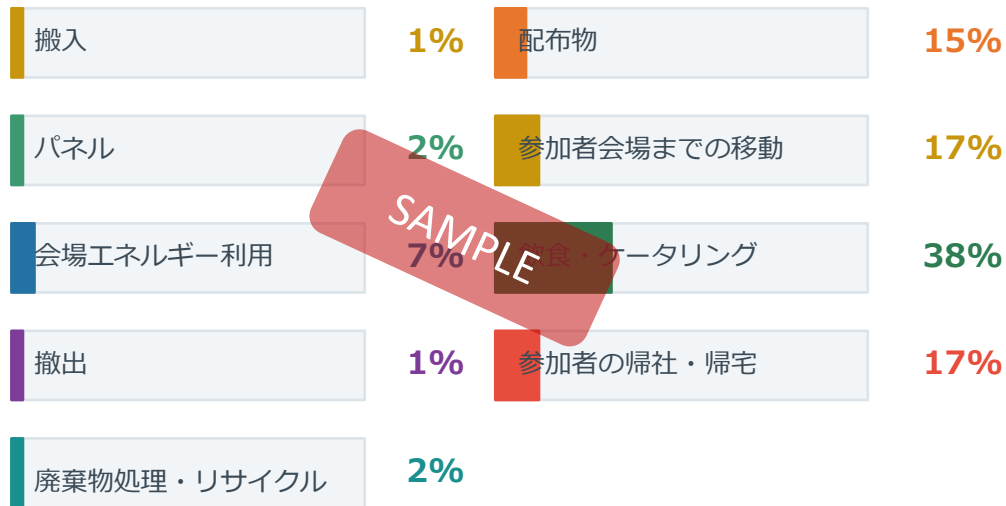
03 ①イベント排出源の見える化

環境省・GHGプロトコル準拠 | ライフサイクル全体のCO₂を包括的に評価します

段階別CO₂排出量



活動別CO₂排出量内訳



▶ イベント開催に伴うライフサイクル全体で排出される温室効果ガスをCO₂排出量に換算し、包括的に評価します。

04 ②排出削減の取組み

大会種別や活動領域に応じて最適な削減施策を組み合わせ、主催者および関係者に実施していただく必要があります



会場・エネルギー

- 再エネ導入・環境認証取得会場の優先選定
- LED照明・省エネ空調の稼働確認と管理
- 廃棄物分別・リサイクル体制の整備支援



配布物・印刷の削減

- 抄録集・資料の完全デジタル化（アプリ・PDF）
- 参加証・ネームカードへの再利用素材採用
- ノベルティのエコ仕様化（紙袋・天然素材等）



交通・移動の脱炭素

- 公共交通前提の会場選定・新幹線優先手配
- EV・HV車両優先の配車・相乗りマッチング
- 低炭素移動手段マップの参加者向け提供



飲食・フードロス削減

- 地産地消メニュー・植物性食材活用
- フードロス削減のための事前人数把握
- 余剰食品のフードバンク連携



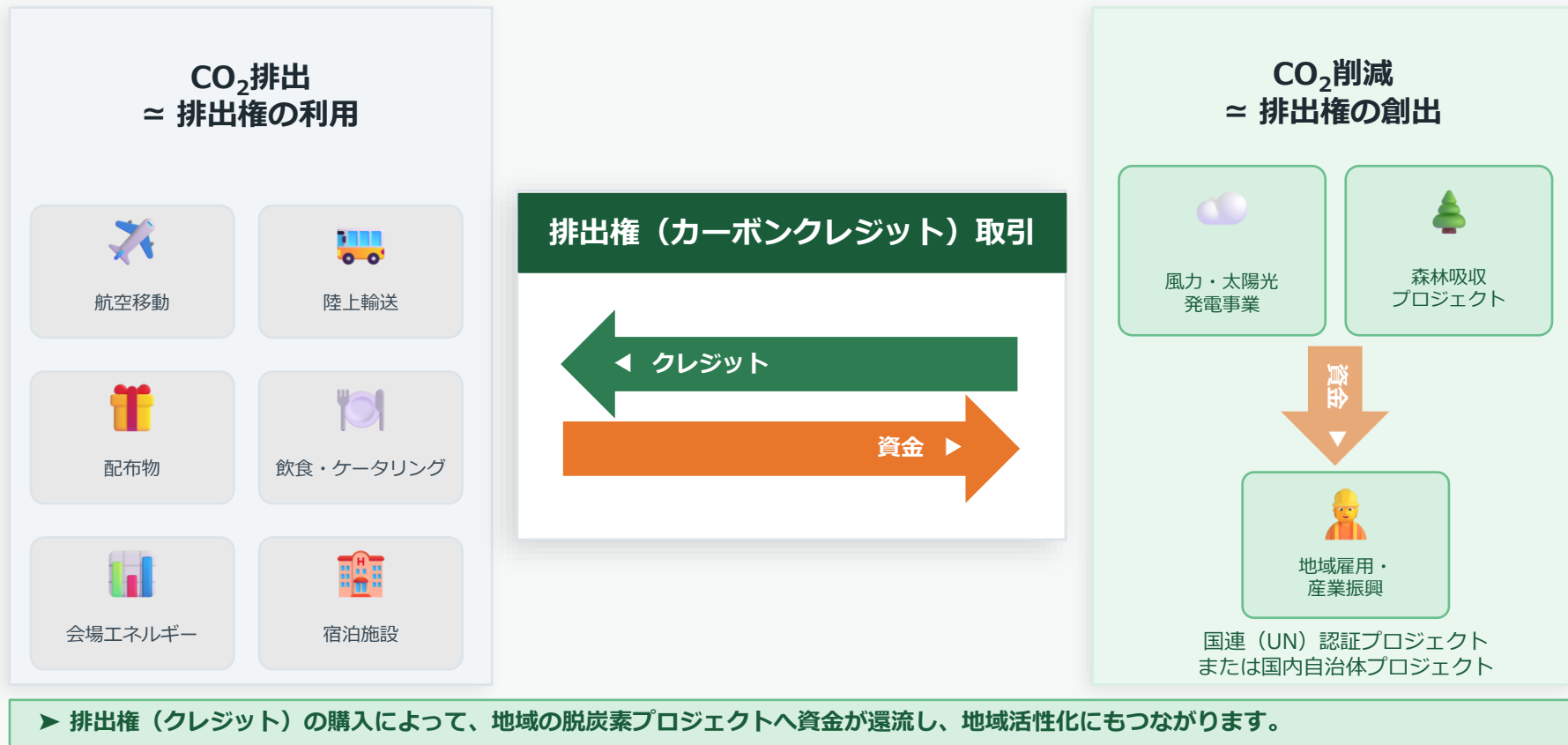
宿泊の脱炭素化

- 環境認証取得ホテルの優先選定
- 再生可能エネルギー使用宿泊施設を積極手配
- 節水・節電協力施設の選定

▶ 大会冒頭での脱炭素宣言・参加者への情報発信・エンゲージメントプログラムも組み合わせ可能

05 ③カーボンオフセット

削減努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、カーボンクレジットによりその排出量を相殺します



06 ④デジタル技術で体験価値を最大化する

大会のPRをはじめ、新たな価値提供と参加者の行動変容を促進するデジタルソリューションを提供します



① 特設サイト

情報発信

主催者の環境への貢献・取組みを視覚的なストーリーで発信。企業価値の向上とステークホルダーとの信頼関係構築に貢献します。



www.offemission-carbonoffset.com/miceshowcase2025



② 環境クイズゲーム

エンゲージメント

環境クイズを通じて参加者のエンゲージメントを深めながら環境意識を高めます。楽しみながら学べるゲーミフィケーションで行動変容を促進。



③ CO2削減評価アプリ

エンゲージメント

参加者の「CO2削減量」を簡単に計算し、それが「スギの木、何本分の吸収量」にあたるのかを分かりやすく見える化します。



④ CO₂カウンターアプリ

情報発信

イベントの環境負荷をリアルタイムで可視化し分かりやすく表示。数値で実感することで参加者の行動変容を促進します。



offemission-events.com/eventco2counter

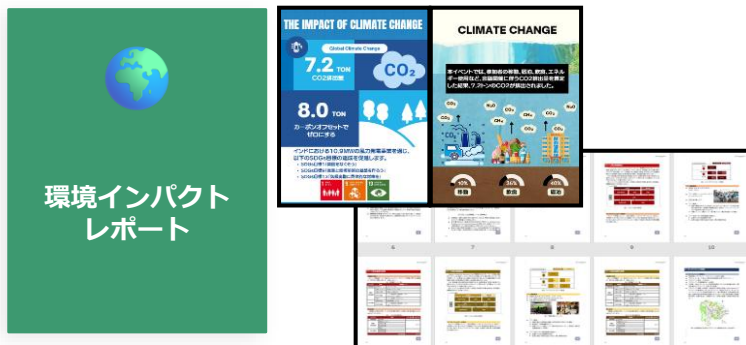
07 成果物例

取組みの成果を可視化し、社会・ステークホルダーへ効果的に伝達します

<インパクトレポート>

取り組み成果を定量的に可視化し、その社会的・環境的価値を関係者に効果的に伝達します。

- サステナビリティレポートへの活用
- IR資料など様々な企業開示資料に活用可能
- プレスリリースや対外向け情報発信への活用



<国連または自治体が発行する証明書>



UN

国連認証クレジット証明書



J-クレジット / 自治体

国内認証クレジット証明書

<パネル製作>



環境啓発
掲示パネル



脱炭素アクション
参加者向けパネル



08 費用対効果イメージ

「脱炭素への取組み」は費用ではなく、価値を生む投資です



CO₂削減効果及び費用最適化

環境負荷低減

開催費用の最適化

大会ごとの施策積み上げにより、継続で排出量を削減できる。



継続参加・定着化

参加者定着率向上

大会ブランド価値向上

毎年の脱炭素取組みが大会のアイデンティティとなり、参加者の継続参加を促進します。



スポンサー収入増加

新規獲得・単価UP

ESG投資企業との連携

脱炭素コミットが企業スポンサーのESG目標と合致し、スポンサー獲得・単価向上につながります。



メディア・PR効果

露出機会の拡大

環境先進大会として発信

取組みをプレスリリース・SNS・特設サイトで発信することで、大会の認知度と参加者獲得が向上。

09 継続的改善サイクル（PDCA）とスケジュール

単年で終わらせない — 毎大会ごとに積み上げる仕組みを提供します



※イベント主催者が掲げるべき年次CO₂削減目標は、年間約2～3%が目安となります。
これは、パリ協定と整合した科学的根拠に基づく温室効果ガス削減目標（SBT）に準拠した、国際的な標準水準です。

11 主催者様が得られる価値

脱炭素への取組みは、大会のブランド価値を高める投資です



対外的な信頼・ブランド向上

SDGsコミットを明示し、参加者・スポンサー・行政からの信頼と評価を高めます。



透明性ある環境報告

インパクトレポートによりステークホルダーへの説明責任を果たし信頼関係を構築します。



継続参加・大会定着化

毎年の脱炭素取組みが大会のアイデンティティとなり参加者の継続参加を促進します。



PRとしての発信力強化

取組みを特設サイト・SNSで広報することで大会の認知度と参加者獲得力を高めます。



先進性・学術的権威の確立

研究・専門領域と脱炭素実践を連動させ学会・協会としての先進イメージを確立。



地域社会・環境への貢献

カーボンプレジット購入を通じて地域の森林保全・再エネ事業・地域雇用に貢献します。

ともに、未来へ

大会の脱炭素化を 「継続的な仕組み」に

すべての大会種別に対応したオーダーメイド提案

CO₂算定から報告、価値体験までワンストップ

地域カーボנקレジットで残余排出を相殺・地域活性化に貢献

デジタル活用で参加者の意識変革と体験価値を向上